



岩槻幼稚園・2025年度1月号

<2025年度1月の聖句>

イエスは知恵が増し、背丈も伸び、神と人ともに愛された。
ルカによる福音書2:52

～心にとめて～

1月になりました。2026年もよろしくお祈りします。大きな怪我や事故もなく、みんなで3学期をはじめられることがとてもうれしいです。また、もっとうれしいことに、あたたかいお友だちをお迎えすることができました！今日は岩槻幼稚園の子としてはじめての登園でしたが、おにいさん、おねえさんたちが戸惑わないように見守ってくれていました。当たりまえのように気かけ、ときに手を引きながら優しく接してくれる。そんな姿にこころがあたたかくなりました。あたたかい年、こころもからだも大きく変わります。だけど、変わらず、そのままのあたたかい子たちでいてくれたらなと、ひそかに願っています。

岩槻幼稚園の子が自然に優しいきもちを分け合えるのは、自分が小さかったころ、年上のお友だちに優しくしてもらったからです。だから自分がしてもらったように、あたたかいお友だちにしていあげることができる。そんな優しいバトンを託され、託しながら、この幼稚園も年を重ねてきたのだと思います。

そんな優しさのバトンを受け渡すとき。それが3学期です。卒園していったおにいさんおねえさんたちから託されたものを、今の年長さんはしっかりと引き継いでいます。ですから、今日からまた、その大切なおこころを小さなお友だちに教えてあげてくれたらと思います。そうすればますますこの幼稚園は、あたたかい気持ちにあふれた場所になるはずです。

年長のみんなはぜひ、小さな子たちの素敵なお手本になってくれたら嬉しいです。小さなお友だちは、今いるおにいさんおねえさんたちに目一杯優しくしてもらってほしいです。そしてぼくは、そんなみんなの姿を見守りながら、今のメンバーですごせる残り少ない時間を大切にしていきたいなと思います。

岩槻教会牧師・岩槻幼稚園園長 清水 義尋

<今月のねがい> — じっくりと・広がる —

- ・クリスマスにお生まれになったイエスさまを身近に感じながら聖書のお話を聞く
- ・伝承遊びや季節の遊びなどを通して、友だちとじっくり過ごすことを楽しむ
- ・友だちとアイデアを出しあい遊びを広げていくことを楽しみながらじっくりと遊ぶ
- ・空気や風、水などの冷たさ寒さを感じながら、戸外に出て自然の変化を見つける
- ・吐く息の白さ、空気の冷たさ、霜、氷、雪、木々の冬芽などから冬を五感で感じる

